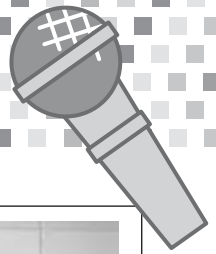


新規採用教員へのインタビュー



岡本 卓士 おかもと たくし

里庄町立里庄西小学校教諭
(令和3年度採用)

自己紹介

昨年4月に小学校教諭として採用され、4年生27名の担任をしています。休みの日はバイクに乗り、岡山県のキレイな道や景色を楽しんでいます。日本の地理や歴史が好きで、大学生の頃にバイクで西日本を一周しました。残りの東日本を教師人生でゆっくり回ることが目標です。

Q 教員を目指した理由を教えてください。

小さい頃から将来は何か人の役に立つこと、人のためになることがしたいと考えていました。中学生の時、自分の進路について考える機会があり、その時に頭に浮かんだのは、私が小学6年生の1年間でした。クラスは男女共に仲が良く、担任の先生は、休み時間と一緒にドッジボールをするなど全力で遊んでくれ、授業中には、おやじギャグを言って楽しませてくれる、とても親しみを感ずる先生でした。1年間安心して楽しく過ごすことができたのはその先生のおかげで、私もその先生のようになりたいと思いました。子ども達と全力で関わる中で、子ども達の成長を助け、それと同時に自分も成

長していける、そんな環境に身を置きたいと思ひ、小学校の先生を目指しました。

Q 教員になってみて、この1年どうでしたか。

とにかく1日が短いと感じています。限られた時間の中で仕事を終わらせることに日々奮闘しています。子ども達ともっと関わりたいのですが、日々の業務に追われているのが現状です。それでも、自分の中で毎週月曜日を研究授業の日と決めて、準備や授業をしています。

子ども達に関われる毎日とても楽しく、日々子ども達の成長を感じることが出来ます。なかなか思うようにはいきませんが、ふとした時に、子ども達の「今日の授業は楽しかったな」「よく分かった」と素直な気持ちを聞くことができた時は、教員になってよかったと感じます。次年度は、仕事の仕方を工夫し、もっと子ども達と関わる時間を作りたいです。

Q 仕事の中で、どのようなことに気をつけていますか？

子どもが「今日はたくさん頭を使った」「自分の考えをたくさん話すことができた」と思える授業ができるように心がけています。そのために気を付けていることは、「教員が話すぎない」「指示は的確に短く」「子どもが自分の考えを話す機会を設ける」ことです。また、子ども達は、いろんなことに興味をもち、毎日のように質問をしてくれます。そんな時、すぐに答えを教えるのではなく、図書館やChromebookを使って調べてもらんと投げかけ、自分で調べる癖をつけることができるようにしています。

Q 子ども達は、学校のChromebookをよく使っていますか。

1日に平均して2、3時間はChromebookを活用した授業をしています。児童は自分の考えを他の人と比べたり、学級全体に発信したりしながら学習しています。子ども達は、最初こそ戸惑っていましたが、すぐに慣れ、今では係活動にChromebookを活用するなど、自分たちで出来ることを考えながら工夫している様子があります。

Q 教員採用試験の対策について教えてください。

教員採用試験当時、大学4年生でしたが、コロナ禍での対策でした。筆記試験の対策では、友達とオンラインでつながり、手元の様子を配信しながら日々勉強しました。面接練習は、オンラインでは臨場感がないため、できるだけ対面で行うようにしていました。

また、県教育委員会主催の『教師への道』研修へ参加して、他大学の教員志望の学生と一緒に研修することで、刺激を受けることができたことは良い経験でした。

Q 休みの日は、どんなことをして過ごしていますか？

ボウリングにはまっています。休日は、マイボールとマイシューズを持参し、1日10ゲーム程度、楽しんでいきます。また、学生時代からの趣味が、バイクに乗って景色の綺麗な場所を訪れることです。バイクは、視界を遮るものがなく、景色が直接目に飛び込んでくるなど、その土地のよさを全身で感じることが出来るので好きです。